

# 東京研究会 報告会 開催履歴

2018年12月7日

発表者：大野 早苗 武蔵大学経済学部教授  
テーマ：『What Factors Caused the Increasing Currency Hedging Cost?』

発表者：黒川 洋行 関東学院大学経済学部長  
テーマ：『日独両国の雇用システムと労働市場の比較分析—ドイツの社会的市場経済の理念との関連—』

2018年6月29日

発表者：畔上 秀人 東洋学園大学現代経営学部教授  
テーマ：『生命保険会社は大株主としての地位を銀行窓販に利用しているのか?』

発表者：伊藤 隆康 明治大学商学部教授  
テーマ：『金融政策の予想が短期金融市場に与える影響：マレーシアにおけるイスラム金融とコンベンショナル金融の分析』

2017年12月1日

発表者：内田 聡 茨城大学人文学部教授・学長特別補佐  
テーマ：『明日をつくる地域金融—イノベーションを支えるエコシステム』

発表者：高橋 豊治 中央大学商学部教授  
テーマ：『近年のイールド・カーブ変動について—主成分分析による検証—』

2017年6月30日

発表者：黒川 洋行 関東学院大学経済学部長  
テーマ：『EUの銀行同盟における預金保険スキーム統合の展望—金融システム安定化とモラルハザードのはざま—』

発表者：朝日 譲治 明海大学経済学部教授  
テーマ：『On the Easterlin Paradox—Theoretical Aspects of the Happiness Function』

2016年12月2日

発表者：朝日 譲治 明海大学経済学部教授  
テーマ：『水道料金と地方公営企業の水道事業』

発表者：畔上 秀人 東洋学園大学現代経営学部教授  
テーマ：『個人生命保険の地域市場動向—転換契約に着目して—』

発表者：樋口 清秀 早稲田大学国際学術院教授  
テーマ：『アベクノミクスについて』

2016年7月1日

発表者：樋口 清秀 早稲田大学国際学術院教授  
テーマ：『イノベーションと日本経済』

発表者：内田 聡 茨城大学人文学部教授  
テーマ：『「地域」創生と地域金融—エコシステム、フィンテック、IoTの世界で—』

2015年11月20日

発表者：畔上 秀人 京都学園大学経済学部教授  
テーマ：『保険商品の窓口販売と金融機関店舗—2000年代入り後の概況—』

発表者：伊藤 隆康 明治大学商学部教授  
テーマ：『Long Term Interest Rates and Inflation Expectations in Sweden under the Inflation Targeting Policy』

2015年6月19日

発表者：大野 早苗 武蔵大学経済学部教授  
テーマ：『金融危機時における金融機関のCDS：流動性逼迫の影響とシステム・リスク』

発表者：黒川 洋行 関東学院大学経済学部教授  
テーマ：『EUの銀行破綻処理メカニズムにおける「責任原理」の導入—ドイツ金融システムとの関係性を中心に—』

2014年12月19日

発表者：朝日 譲治 明海大学経済学部教授  
テーマ：『米国におけるリテール金融機関の動向』

発表者：畔上 秀人 京都学園大学経済学部教授  
テーマ：『店舗サービス指標の応用—九州地方の信用金庫について—』

2014年6月6日

発表者：伊藤 隆康 明治大学商学部教授  
テーマ：『Do Interest Rate and Stock Price have an Impact on REIT Market in Japan?』

発表者：高橋 豊治 中央大学商学部教授  
テーマ：『金融危機時の株価変動要因—長期的な変動とアジア金融危機時の比較—』

2013年11月8日

発表者：朝日 讓治 明海大学経済学部教授  
テーマ：『現代経済学の再検討—効用概念をめぐって』

発表者：高橋 豊治 中央大学商学部教授  
テーマ：『The Impact of “Financial Tsunamis” on Japanese Economy』

発表者：樋口 清秀 早稲田大学国際学術院教授  
テーマ：『金融危機後のマクロ経済学』

2013年6月7日

発表者：畔上 秀人 京都学園大学経済学部教授  
テーマ：『金融機関の店舗サービス指標の再考察』

発表者：滝川 好夫 神戸大学大学院経済学研究科教授  
テーマ：『信用金庫らしさとは何か：協同組合組織性、地域金融機関性、中小企業金融機関性』

2012年11月9日

発表者：高橋 豊治 中央大学商学部教授  
テーマ：『An Empirical Analysis of Pricing in the Japanese Bond Markets —Using asset swap spreads to identify relative-value of fixed-income—』

発表者：大野 早苗 武蔵大学経済学部教授  
テーマ：『コモディティ市場は金融市場化したのか?』

2012年6月8日

発表者：伊藤 隆康 新潟大学経済学部教授  
テーマ：『The Behavior of US Interest Rate Swap Spreads in Global Financial Crisis』

発表者：畔上 秀人 京都学園大学経済学部教授  
テーマ：『Regional Differences in the Sale of Individual Annuities in Japan』

2011年12月9日

発表者：朝日 讓治 明海大学経済学部教授  
テーマ：『国民皆保険制度の成立—医療保険をめぐって』

発表者：黒川 洋行 関東学院大学経済学部教授  
テーマ：『ドイツの社会的市場経済と社会保障改革』

2011年6月17日

発表者：伊藤 隆康 新潟大学経済学部教授  
テーマ：『Dose the Expectation of Monetary Policy Give an Impact on Market Interest Rates in Australia?』

発表者：滝川 好夫 神戸大学大学院経済学研究科教授  
テーマ：『民間金融機関の特質と貸出条件：銀行 vs. 協同組織金融機関』

2010年11月19日

発表者：大野 早苗 武蔵大学経済学部准教授  
テーマ：『Liquidity crunch and interdependence among major financial institutions under the global financial turmoil: Evidence from credit default swap spreads』

発表者：滝川 好夫 神戸大学大学院経済学研究科教授  
テーマ：『サブプライム金融危機のメカニズム』

2010年6月25日

発表者：伊藤 隆康 新潟大学経済学部教授  
テーマ：『金融政策に関する予想と中長期金利：リーマンショック後の日銀の市場との対話を分析して』

発表者：内田 聡 茨城大学人文学部教授  
テーマ：『アメリカでの破綻銀行の急増を「可能にしたもの」は何か』

2009年11月27日

発表者：畔上 秀人 関東学園大学経済学部准教授  
テーマ：『フルバンキング店舗の廃止と開設—2002年から2008年までの地銀を中心に—』

発表者：石森 良和 東海大学政治経済学部准教授  
テーマ：『産業別の企業物価は相互に関連しているか  
Is there any interactions in the changes in corporate good prices of basic groups?』

2009年6月5日

発表者：滝川 好夫 神戸大学大学院経済学研究科教授  
テーマ：『ケインズならサブプライム危機をどう解決する』

発表者：伊藤 隆康 新潟大学経済学部教授  
テーマ：『The VAR Analysis of Japanese Interest Rate Swap Spreads and Monetary Policy—VAR を用いた日本円金利スワップスプレッドの分析と金融政策』

2008年11月28日

発表者：高橋 豊治 中央大学商学部教授  
テーマ：『アジア通貨危機時の株価変動要因』

発表者：伊藤 隆康 新潟大学経済学部教授  
テーマ：『大阪府における地域金融：預金金融機関の店舗配置分析』

2008年6月27日

発表者：朝日 讓治 明海大学経済学部教授  
テーマ：『わが国の地域間格差をめぐる視点』

発表者：黒川 洋行 関東学院大学経済学部准教授  
テーマ：『ドイツの銀行システムと貯蓄金融機関の動向』

2007年11月16日

発表者：内田 聡 茨城大学人文学部准教授  
テーマ：『米国コミュニティバンク・協同組織金融機関のガバナンス』

発表者：畔上 秀人 関東学園大学経済学部准教授  
テーマ：『これからの地域金融機関の店舗展開』

2007年6月1日

発表者：滝川 好夫 神戸大学大学院経済学研究科教授  
テーマ：『リレーションシップ・バンキングの経済理論：1つのサーベイ』

発表者：鴨池 治 東北大学大学院経済学研究科教授  
テーマ：『金利スワップのスワップレートについて』

2006年12月1日

発表者：畔上 秀人 関東学園大学経済学部助教授  
テーマ：『中山間地域の金融機関利用について 二つの村で行ったアンケート調査から』

発表者：滝川 好夫 神戸大学大学院経済学研究科教授  
テーマ：『日本におけるリレーションシップ・バンキングの実態』